

●第2期5年目(令和4年・2022年度)の事業計画基本方針

指定管理第2期5年目(最終年度)は、コロナ禍も終息が見通せない中、青葉区民文化センターは、ホール及びホワイエが天井改修工事により閉鎖となるため、施設のご利用はリハーサル室・練習室のみ通常通りの可能という変則的な運営となる年度です。従って、通常年度とは異なる事業計画を策定します。自主事業は、他施設での公演開催やリハーサル室での開催という変則的なものになります。一方で第2期で充実した結果を残してきた地域連携事業に注力し、二つの顔のコンセプトにふさわしい最終年度にしていきます。

更には、次期第3期に向けて、新たなコンセプトを組立て、天井改修後の新しい青葉区民文化センターフィリアホールでの素晴らしい事業が展開できることを目指します。

天井改修工事中は、ご利用者はもちろん、青葉台東急スクエアの他のテナント様の営業、青葉台東急スクエア全体の営業やビル管理等に支障の無いよう、安全に工事实施ができるよう最大限の対応をとるようにしてまいります。

(再確認) 第2期の青葉区民文化センターフィリアホールの基本コンセプト(提案企画書より抜粋)

“フィリアホール”と“青葉区民文化センター”の二つの顔で～“地域を『繋げる』フィリアホール”～

「文化発信、発表の場を提供するフィリアホールの顔」と「地域連携、協働する青葉区民文化センターの顔」の「二つの顔」を理想とし、区民文化センターに求められる役割を認識し、確実に成果を上げることを目指す。

◎フィリアホールとしての文化事業活動:提案時コンセプト

『文化事業は、「コンサート・シリーズ」と「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」の二軸で』

◎青葉区民文化センターとしての、地域コミュニティ・文化的コモンズ形成の活動:提案時コンセプト

地域課題と向き合い、ニーズを捉え、様々なネットワークを作り、繋げて、音楽で地域を繋げる＝文化的コモンズ形成の牽引役を果たす。事業の展開とともに、地域の「協働する人財」の育成にも取り組む。

◎施設運営の基本的考え方:提案時コンセプト

「人財」「施設」「収支」「情報」の4つの柱を運営の軸とし、文化発信拠点として地域の絆をつなげる役割を果たす、

◎令和4年度(2022年度)の位置付け

令和4年(2022年)は、天井工事での限定的な施設利用という条件下での事業展開となります。

「コロナ感染防止対策徹底」は大前提で、加えて工事中の安全管理、ご利用者及びスクエアビルへの安全対策や騒音粉塵対応を徹底し、「安心安全」な施設のご利用を目指します。

変則的な文化事業は、他施設利用での開催を企画し、区内施設開催は、地域連携事業として位置づけます。また昨年録画した配信用動画も、閉鎖中のホールに代わる文化発信素材としての活用を検討します。一方この時期にこそ、外への拠点づくりをめざし、地域連携事業はより積極的に展開します。リハーサル室・練習室のご利用者には広報を徹底し、工事中でも利用促進を図るようにします。二つの顔の新しい姿を確立し、今後につながる青葉区民文化センターの事業運営を確立させます。

●鑑賞型事業「コンサートシリーズ」

限られた条件下でも、今までフィリアホールでのコンサートを愛し続けて頂いているお客さまに、フィリアのコンサートをお届け続けていくという使命をもって、開催をしていきます。小規模なものではリハーサル室での開催も検討します。

地域への文化発信という役割は、地域事業と連携し、最終年度にふさわしい充実したものにしていきます。

●「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」

エデュケーションプログラムのアカデミー系プログラムは、ホール利用がない等の諸般の状況により断念します。その分文化事業としての若手育成プログラムも、インキュベーション型の企画実施を検討したいです。

コミュニティプログラムは、大規模なものは不可能ですが、ワークショップ・プチコンサート、幼児向け、子育てママへのプログラムなどは開催できるようにしていきます。コロナ禍でも、地域とのつながりで音楽を発信できるプログラムを積極的に実施していきます。ジュニア合唱団もコロナ禍継続の中で、どのような活動ができるかを模索しつつ練習の展開を考えます。

●地域コミュニティ形成事業

地域施設連携は、コロナ禍・そしてホール閉鎖の時期だからこそ、より強化充実させ、アウトリーチはもちろん、動画配信など通して、さまざまな事業を実施します。今年度は、区内のすべての地区センターとの連携を実施します。昨年度は一段進歩した展開となった、あおば支援学校との連携事業も継続・充実させていきます。

区民協働事業となる「区民企画」も、リハーサル室や他施設との連携での事業を検討し、今年度も募集していきます。

●施設利用・施設運営

施設利用では、コロナ共存の中、各種ガイドラインや利用時感染対策を遵守し、色々な制約の中でご利用して頂くざるを得ません。消毒・換気・3密対策等の徹底にご理解いただき、制約条件を遵守したうえでのご利用をお願いします。利用キャンセルへの返金等は指示に従い、直前キャンセルでの空き枠の有効利用策も検討します。ホール閉鎖中でも、リハーサル室・練習室利用は安定した利用ができるよう、告知を徹底していきます。

最終年度であり、次期の新たな視点を模索していくためのご利用者の声の把握は、従来の自由提出ではなく、ご利用者へのアンケート等の方策により、ご意見・ご要望・ご提案を収集したいと思います。

●施設管理面

令和4年度の天井工事改修中は、ホールに関する日常的な保守はありません。その他施設での経年劣化による修繕発生、突然の不具合故障への対応をしていきます。この時期だからできる根本的な修繕や交換を、工事期間中に行う方向で費用等の対応を検討します。

令和4年度(2022年度)事業計画

I. 令和4年度文化事業の活動

1. 文化事業活動の基本方針

フィリアホールの顔であり、最も重要な文化事業ですが、今年度はホール天井工事に伴い、自施設でのコンサート開催が出来ません。そこで今年度は、他施設を利用して年間数回の開催を行います。フィリアホールのコンサートを楽しみにしている多くの方に、フィリアらしいコンサートをお届けすることを心がけます。エデュケーション&コミュニティ分野では、リハーサル室等も活用してアカデミープログラム、幼児向けや企画を検討し、実施します。

2. コンサート・シリーズ

文化の発信という区民文化センターの使命として、区民ニーズに応えたコンサートの開催を実施します。隣接緑区民文化センターで3回。区内のアートフォーラムあざみ野と横浜市民ギャラリーあざみ野でも開催します。

○緑区民文化センターでのコンサート

神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ 特別編
大人気コンサートマスター石田泰尚を中心とする、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の首席メンバーによる室内楽公演。フィリアホールで定番のシリーズの特別編として開催。

金川真弓 ヴァイオリン・リサイタル
国際コンクールで上位入賞を果たし、近年N響等国内外オーケストラとの共演でも知名度上昇中の、アメリカ在住の日本人ヴァイオリニストの来日公演。

仲道郁代(ピアノ) & 西村悟(テノール)
フィリアホール女神シリーズ常連のピアニストが、バレンタイン企画として、ソロ演奏に加え、恋愛を題材とするベートーヴェンとシューベルト歌曲を人気若手テノール歌手とお送りするリサイタル。

○アートフォーラムあざみ野・市民ギャラリーあざみ野での活動

トーク&コンサート「歴史を作った女性音楽家たち ～クララ・シューマンと幸田延～」
アートフォーラムのレクチャールームでのコンサート。男女共同参画センターとの連携という趣旨で、19～20世紀に活躍した「女性音楽家(演奏家・作曲家)」を紹介するトーク&コンサートを開催。

横浜市民ギャラリーあざみ野ロビーコンサート
市民ギャラリーあざみ野で開催されているロビーコンサートに、フィリアも協力して、2本程度の開催を予定。

3. エデュケーション&コミュニティ・プログラム

「ミュージックアカデミー・プログラム」の今年度は、若手音楽家の発掘育成を視野に入れた「インキュベーションプログラム活動」を継続できるよう検討します。

「キッズ&ファミリー・プログラム」では、ホール休館のため、ファミリーコンサートは実施できません。そこでプチコンサート・ワークショップ等を提供し、若手アーティストを積極的に起用します。

「地域コミュニティ・プログラム」では、区民提案型企画を今年度も公募します。地域密着型企画として発展充実させ、青葉区民文化センターとの協働、地域人材育成のプログラム展開を図りたいと思います。

「フィリア・ジュニア合唱団」は、引き続き「区民によって企画運営する」活動としてサポートします。コロナ禍で感染対策等を模索しながら、出来るだけの活動継続はしていきたいと思ひます。

「横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業」による小中学校へのアウトリーチ活動を引き続き継続します。昨年度のように、STスポット対象外の学校にも要望があれば、アウトリーチを行うようにしたいです。

「地域諸施設へのアウトリーチ活動や提携企画」はホール休館中はより発展拡大し、費用負担も含め積極的に各施設への企画提案も充実していきます。地域とつながりを充実させる活動を行います。

4. 国内・地域で活動する優れた音楽団体との共催事業の実施

共催事業は今年度実施できません。横浜音祭りの年度ですが、工事中のため協力ができないのが残念です。

◎令和4年度の鑑賞型事業の基本ラインナップ

コンサートシリーズ					
開催場所	公演名	コンセプト	開催日	年間収支 (収入税込・費用税抜:千円)	
緑区民文化センター	神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ 特別編	神奈川フィルハーモニー首席メンバーによる室内楽公演シリーズ特別編。	9月予定	収入	891
				支出	1,041
緑区民文化センター	金川真弓 ヴァイオリン・リサイタル	女神シリーズの特別編 アメリカ在住の日本人ヴァイオリニストの来日公演。	10月予定	収入	958
				支出	948
緑区民文化センター	仲道郁代(ピアノ) & 西村悟(テノール)	女神シリーズの特別編。常連仲道郁代と若手テノール歌手によるリサイタル。	2月予定	収入	1,485
				支出	1,788
アートフォーラムあざみ野	トーク&コンサート「歴史を作った女性音楽家たち」	横浜市民ギャラリーあざみ野、男女共同参画センターとの連携企画	7月予定	収入	278
				支出	489
市民ギャラリーあざみ野	ロビーコンサート	横浜市民ギャラリーあざみ野、男女共同参画センターとの連携企画	7月・3月予定	収入	0
				支出	250

※ エデュケーション&コミュニティは、今期は費用のみ。(STスポット補助金はあり)

エデュケーション&コミュニティ・プログラム					
公演(シリーズ)名	コンセプト		開催日	年間収支(税抜千円)	
ミュージック・アカデミー ・プログラム	今年度は「インキュベーションプログラム」中心		未定	収入	0
				支出	0
キッズ&ファミリー・プログラム	プチコンサート・ワークショップ		年6~8回	収入	0
				支出	0
フィリア・ジュニア合唱団	運営委員と講師陣が合唱指導		練習随時	収入	0
				支出	0
地域コミュニティ・プログラム	区民が企画から運営までを実施。 地域課題に取り組む区民企画		曜日限定 なし 年数回	収入	0
				支出	0
アウトリーチ・プログラム	学校や・地域施設等へアーティスト派遣、 STスポット事業協力		ST 4校 施設年5 回~	収入	360
				支出	870

II. 令和4年度 地域コミュニティの形成・社会的包摂推進への活動

1. 地域コミュニティ形成への基本方針

第2期の重要テーマ「青葉区民文化センターの顔」の活動は、4年間で十分にその役割を果たしています。ホールやホワイエが使えない今年度は、経験、ネットワークと地域の人財を活用し、文字通り施設の外での拠点づくりを目指した活動を目指します。次期3期目の活動につながる基盤づくりをする年度にしていきます。

2. 地域活動で目指す課題の設定 (第2期提案での基本事項)

地域連携事業は、地域の様々な課題へのアプローチを掲げ、活動内容を設定します。広範囲で複雑なものですが、こうした課題やテーマに沿って、いろいろなアプローチにより、市民協働・地域連携の中で活動を模索していきます。

★子育て世代(パパ・ママ)	★シニア世代	★社会的包摂を考えた人達	★青少年(小中高)
---------------	--------	--------------	-----------

3. 文化事業と連動する活動

●エデュケーション&コミュニティ・プログラムとの関連事業

文化事業のエデュケーション&コミュニティで、「コミュニティ」プログラムを提供します。地域とのつながりを考え、「二つの顔」がともに力を発揮し、連携しあう事業です。ホール休館・コロナ禍において、何を提供し、何を感ぜてもらおうかを考えていきます。

◎令和3年(2021年)の主要な企画

●子どもたち・ファミリー層に向けた例年実施のオープンデーやファミリーコンサートなどは今年度は開催できません。

●乳幼児と子育て世代向け・地域の人達向けの活動

★下記の企画もホワイエ休館のため、リハーサル室や他施設等での開催を模索します。

企画	時期等	企画概要及び計画概要
プチコンサート	未定	プチコンサート等は、リハーサル室での開催を検討。毎回楽しみにしている方も多く、特にコロナ禍で育児にも苦労されている子育て世代の方達に、憩いと安らぎを与える活動をします。
ワークショップ	未定	
ロビーコンサート	未定	もっと気軽に「クラシック」に触れていただきたいという企画。ホールでなくても少人数でより親密な感覚でのコンサートを実施します。

●若手・地域音楽家育成支援

企画	時期等	企画概要及び計画概要
若手音楽家の育成	通年	「インキュベーション・プログラム」を継続予定。コロナで活動領域が狭まった若手音楽家達に、積極的に企画し活動できる時を支援したいです。各種支援金等に申請したアーティストに対する施設利用サポートという形を今年度も検討していきます。
若手音楽家の活用	通年	地域で活動する若手音楽家や団体を、プチコンサートや他施設連携事業などで積極的に活用し、活動の支援、地域との繋がりの醸成していきます。

●ジュニア合唱団の活動

企画	時期等	企画概要及び計画概要
ジュニア合唱団	第2・4土曜	ジュニア合唱団の活動は継続します。単に「合唱」を指導し発表する場ではなく、小中学生がここに参加し、ここに居場所があって、どこかほっとして楽しめるような場になるようにしていきたいです。コロナ継続を視野に、練習等の方法を検討しながらやっていきます。

4. 地域連携・地域コミュニティ形成に向けた活動

●市民協働促進に向けた活動

企画	時期等	企画概要及び計画概要
区民企画公募・選定・協力実施	通年	実施できなかった企画も含め、新たに企画公募を実施します。コロナ禍の中での安心な開催に向け、施設はより強気にサポートしていきます。開催に向けての支援や相談を受けながら、共に地域に貢献できる場を積極的に創出します。各施設とも協働して音楽を通じて地域ネットワーク作りの提案の場づくりを推進します。
地域連携事業「あおばカノン」	12月	運営委員を中心に今年度はリハーサル室・練習室を使い開催します。今まで繋がった市民団体、障がい施設や引きこもり(8050)の若者の芸術作品などを展示し、アートと音楽で地域の人に喜んでもらえる事業にしていきます。小規模ではありますが新たに地域と繋がる方法を見出し次年度に繋げていきます。

●地域連携・アウトリーチ活動

地域の様々な施設や団体と連携協力していきます。STスポットを通じた学校訪問はもちろん、色々な場所に積極的に出向く活動を展開します。今年度は、ホールが休館となるため、アウトリーチ活動はより拡大充実させ、新しい施設との連携を模索し、ネットワークの拡大、新しい内容などを模索していきます。

町内会、商店街、企業、個人、地域の施設、団体より希望があれば演奏家を紹介します。そのことでコロナ禍で演奏機会が減った演奏家の支援と、ホールまで来ることが出来ない地域の方に生の音楽を届けます。

福祉施設や団体と協働したアート活動、地域施設との交流を踏まえた地域課題にアプローチをする活動を行っていきます。

●地域人材育成・市民団体支援活動

地域の人達との連携事業を展開する中で、地域の人材を育成していくことも重要な役割だと意識しています。コロナ禍での制約、ホール休館等の状況下で、今年度どのような育成活動ができるかを模索します。

地域への文化発信、コミュニティ形成の一環として、活動する市民団体への支援も重要な役割です。通常時なら、ホールでのコンサート開催への支援などを行っていますが、今年度は何が出来るかを模索します。活動資金となる助成金の情報提供やアドバイスなども行っていきます。

今まで繋がってきた地域のネットワークを活かし、活動に必要な施設・団体・人を紹介し双方の活動が活性化されるお手伝いをします。

◎令和3年(2021年)の主要な企画

・学校連携アウトリーチ

STスポット アウトリーチ	下期 学校 連携	STスポットと連携事業(学校対象)。学校と連携し、アーティストと学校を繋げ、実りある時を過ごせるよう努力したいと思います。学校と連携したコロナ対策も実施検討します。昨年度はSTスポットの補助対象外の学校でも実施しており、今年度も要望を聞きながら、多くの学校へのアウトリーチを検討します。
------------------	----------------	---

・地域施設連携アウトリーチ

ホール以外の施設での演奏会企画。区内施設と連携し地域の方に音楽を気軽に楽しんでもらうよう、多くの場所での企画を検討。		
地区センター 連携	適宜	地区センターやコミュニティハウス等と連携し、コンサートを開催。地域の音楽家や若手音楽家とも連携し、気軽に「上質な音楽」に触れる機会を提供します。今年度は、最終年度でもあり、今までできなかった新しい施設との連携を実現させたいです。
ケアプラザ等 連携	適宜	ホールホワイエが使用できない中で、今までとは違った連携企画を模索します。ワークショップの開催や高齢者向けイベント等でも連携をしていきます。

●市民協働・人材育成に向けた活動

区民サポーター	新規募集は実施しません。現在の方々の年間での活動領域を検討します。	
区民企画で育成	区民企画を共同で企画実施していく中で必要な専門的知識やノウハウの研修、企画終了時に地域で活動できる人材育成を目指します。	

●市民主体の活動への支援協力サポート

コロナ禍で、今後の活動体制を模索している団体は多いと思います。青葉区民文化センターでも何が出来るのかをしっかりと考えた支援策を考えていきます。

地域の文化活動を行う人材育成・支援活動として、市民団体や地域の方々にとっての相談窓口と人材の育成拠点として具体的な事業項目の検討を行います。

コミュニティプログラムやアウトリーチ活動などで、協力していただける市民団体や音楽家と連携協働して、活動の場の提供だけではなく、地域とのつながりを持てる活動を支援します。

Ⅲ. 施設運営に関する活動

1. 施設運営の基本方針

基本理念は、「多くの方々に成果の発表の場、日々の練習の場、人々が集える場としてご利用いただき、皆様に喜んでいただける施設」であることは変わりません。しかし、今年度は天井工事での制約とコロナ禍継続の前提に立ち、ガイドラインを遵守し、感染対策等を含め一定のルールをお守りいただくようお願いしてまいります。

2. 適正な施設運営管理

◎ 公平公正な施設利用の原則・ルールの徹底

条例及び横浜市市民利用施設予約システム(以下予約システム)に従い、公平公正な施設運営を継続します。ホームページ上の「利用要綱」に基づく判りやすく利用しやすい施設を目指します。「利用の手引き」や「利用案内」も、改編加筆修正を繰り返し、必要に応じ、ご利用者へ配布説明をします。

★「3密回避、換気、終了後の備品消毒の基本は継続し、市のガイドラインや各種ガイドラインに沿った対応を継続します。

●適切な利用料金と利用区分の設定 ※ホール及び楽屋の使用はありません。

施設利用料金・利用区分については、別表1のとおり、現行利用料金・利用区分の体系を継続します。

●減免・割引サービスの考え方

リハーサル室・練習室の減免は基本はありませんが、状況により適宜判断します。割引サービスはありません。

●利用状況の適正把握

利用人数を終了時に報告してもらいます。利用人数報告用紙は、片づけ、清掃などのチェックリストも兼ねます。

3. よりご利用いただくための運営努力

◎ 稼働促進策

コロナ禍継続の中、各種制約や基本ルールを順守していただくことを前提に、出来るだけご利用いただくための環境整備や各種対応方法を検討します。

●諸室の稼働(ご利用予約)状況の広報

「空き室状況」はHP、情報コーナー・練習室ロビーへの掲示により、空き枠の確認、予約の促進を図ります。

●リハーサル室の積極活用

ホールが使用できない今年度は、リハーサル室利用での発表会等が多くなることも予想されます。手続き等は他利用と変わりませんが、そうした利用ができる旨を告知し利用促進につなげる考えです。

自主事業でも、幼児向け企画等での積極活用、区民企画での活用等、施設側でのリハーサル室利用も多くなると思われます。練習以外の利用策の事例検証もできると思います。

リハーサル室はWifi対応が可能になっています。オンラインでの全体練習等にも活用できることを告知していきます。

●夕夜間の利用促進に向けた活動

リハーサル室・練習室の夜間の利用促進も、次期にもつなげる方策の模索・検証等も進めたいと思います。

4. ご利用満足度向上のために

●ご意見ご要望の収集とPDCA

ご利用状況報告用紙の裏面にて、ご意見ご要望を任意提出する方式を採用して4年。しかし、最近ほとんど記入される方がいません。収集促進の方策検討に加え、ご意見箱の設置、アンケート方式、利用者懇談会等、別の新たな方式も検討します。次期公募には、集めた意見を反映していけるようにしたいと考えます。

●附帯設備や備品の充実

備品・附帯設備の新たな購入、既存備品の修理改善等も検討してまいります。

5. 広報・プロモーション活動、情報提供

ホール利用のない今年度の広報活動はかなり限定されたものになります。年間通して、必要な情報の発信は行いながら、新たな方策を考えていく年度になります。

●ホームページ(HP)やSNS媒体の活用

HPでは、他施設利用でのコンサート情報、リハ室などでのイベント情報を提供していきます。また、動画配信などを積極的に活用し、フィリアホールのコンサートを提供したいと思います。メールマガジンやTwitterという媒体は、様々な情報の発信策として頻度内容を検証しながら、次につながる内容等の模索も続けます。

●イベントカレンダーの改良継続

工事進捗状況なども盛り込みながら、紙媒体として存続させ、有効活用を図りたいと思います。

●会報誌は発行しません。

工事明けに向けて、フィリアホール開館30周年記念誌は検討したいと思います。

6. 年間利用率目標

ホール休館	リハーサル室	82%	練習室1	85%	練習室2	87%	練習室3	86%
-------	--------	-----	------	-----	------	-----	------	-----

利用率目標は、2019年度ベースと今年度利用状況を勘案して、作成しています。事業計画に基づき、自主での利用を検討し、リハーサル室等の稼働促進を図って行きます。

IV. 令和4年度 施設管理への活動

施設及び設備の維持保全及び管理

天井改修工事にあたる今年度は、舞台設備の年間保守はありません。その他の施設設備に関しては、日常点検等により維持保全管理を行います。劣化が進む各種の舞台関連設備機器の更新交換修繕をこの時期に並行して実施していく予定です。音響・照明設備の改修改善内容の検討、費用算定、工事本体との調整等を確定していきます。限られた「修繕費」の範囲内で、改修後の各種設備をより良い状況に整備できるよう検討を進めます。コロナ禍で重要課題となる各室の空調・換気能力の改善にも取り組むべく、設備業者による劣化診断、改善方法などの模索を行います。

利用する各室の設備や各種機器は、ビル側の設備管理者とも連携して、日常的メンテナンス、保守点検を行い、施設の経年劣化に対処し、運営上支障のある部分の修繕、取替を行います。

工事期間中も、リハーサル室・練習室の利用はあります。清掃・衛生管理の徹底は、工事に関わる粉塵等の除去、そしてコロナ感染対策での消毒等しっかりとした対応を行います。ご利用者に安全・安心で快適な施設空間を提供します。

1. 日常点検と予防保全

日々使用時の点検(日常点検)を確実に実施し、日常点検時に発見された不具合は、即時対応の必要を判断した上で、補修・修繕を実施します。点検内容を確認・検証し、修繕の必要性を判断します。

◎舞台設備保守

工事中の年間定期保守は行いません。同時期に更新修繕ができる項目を洗い出し、同時並行での実施を検討します。

ホールのピアノは、一時撤去し保管します。リハーサル室等のピアノは、定期保守・定期調律を実施します。

スタインウェイで一部劣化がある部分は保管時に弦の張替等を実施します。

現所有のホールの3台のフルグランド、リハーサル室他各室のピアノのすべてが30年という時期を経て、大規模修理が必要な時期になっています。かなりの高額になっていくため、今後の修繕・買替等の中期計画を策定します。

◎小破修繕への考え方

年間修繕費では、前述の舞台設備関連の修繕を実施。加えて、空調換気機器の修繕、トイレ機器の交換、各室の内装劣化対応等を検討しています。工事修繕が比較的高額になっており、全面交換が必要な機材の場合は新規リース等も視野に入れ対応していきます。

◎光熱水費について

「光熱水費」については、一部を除きLED化が終了しています。電気代の削減につながると思います。一方で、市況の影響もあり、水道料金も含めて、「単価」が増加傾向にあり、節水節電だけでは費用削減につながっていない部分があります。更なる省エネ・エネルギー消費削減対策として何が出来るかを模索していきます。

2. 清掃、美観管理業務の方針

工事中也、施設的美観を維持し利用者に不快感を与えることのないように努めます。コロナ感染対策での「消毒」についても引き続き適宜実施できるようにします。適宜必要な薬剤や清掃用具を適切に使用して適宜適切な清掃を行います。

3. 備品管理

備品台帳により、備品及びリース品を管理します。

工事において、交換修理・新規導入など大型備品の入替が生じます。年度内で完全に新たな台帳を整備します。事務所等の各種備品も再精査して、新たな台帳を整備します。

日常使用するリハーサル室他の備付備品はご利用者への貸出返還の管理を徹底します。貸出備品は需要に応じ、新たなものの導入も検討しています。

4. 防火防災・防犯への取組み

●非常時対応マニュアルの整備

青葉台東急スクエアも共同防火管理体制下の一員として、緊急時には所定の指示に基づき、スタッフが行動します。

青葉区民文化センターとしての「非常時対応マニュアル」を整備し、緊急時の対応を行います。防犯対策については、ビル警備保安体制との連携を密にし、適宜適切な対応を心がけます。

工事期間中は、防災諸設備が使用不能になる部分があり、施工業者と共に特別な消防計画を策定し、防火対策を徹底していきます。施工にあたっては所轄消防所との協議、必要な申請届け出を行います。

5. 運営組織の構造：少数精鋭による総合力を発揮する人材の配置 別紙：組織図参照

●少数精鋭の「フィリアスタッフ」

◎今年度は、工事中の舞台管理業務の軽減、カウンターでの券売業務の軽減等を勘案し、舞台スタッフの要員減(3名→1・5名体制)、カウンターシフトの変則型(3シフ/5ポストから4ポスト)等の対応により一部の要員を削減して対応します。

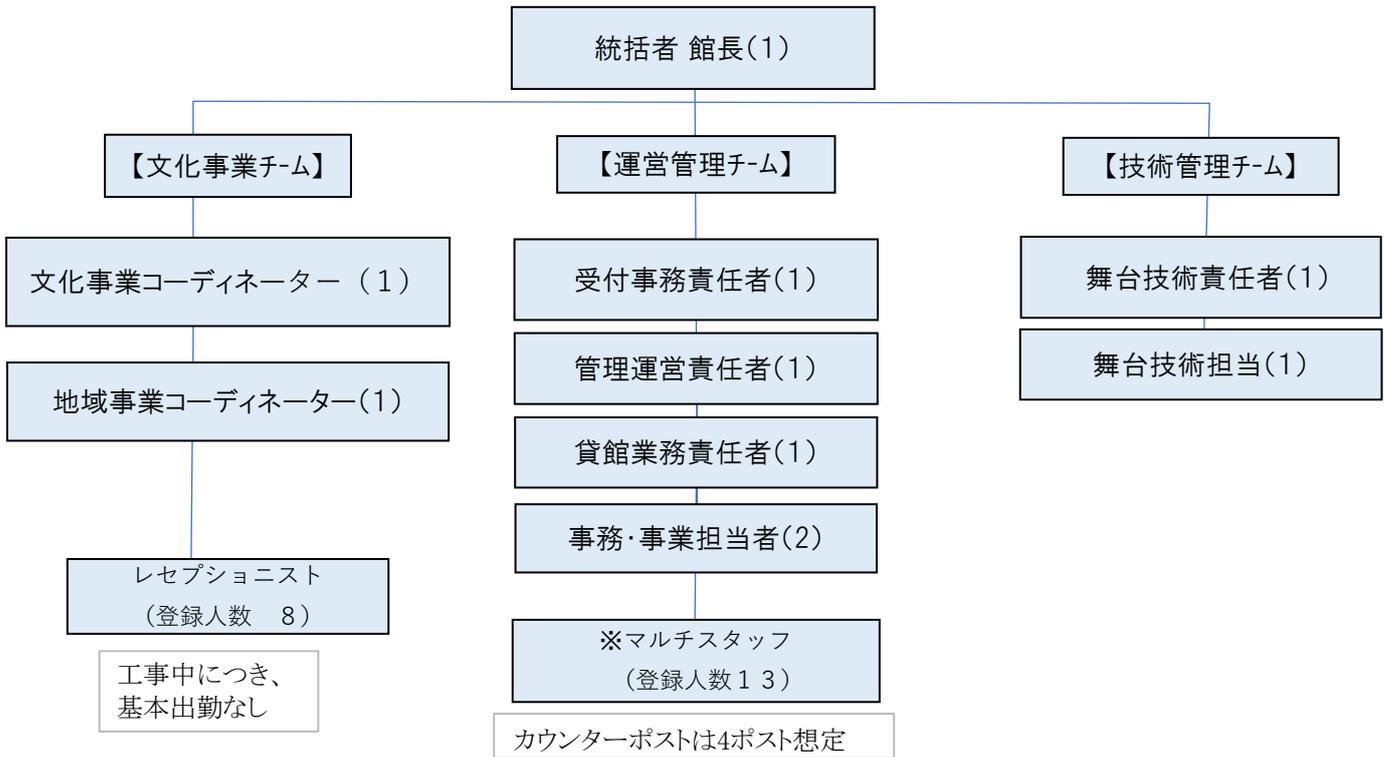
事務所スタッフは、他施設での活動のため外出等が増えることを勘案し、責任者を含む8名を変えずに対応します。フラットな組織構造を目指し、共同事業体各社のスタッフ全員で、ご利用者へのサービス向上、より良い接遇をするようにします。

●スタッフを対象とした各種の研修・ミーティング

今年度の特殊な利用状況を利用して、研修やミーティングを積極的に検討していきます。新たな課題の共有、能力のブラッシュアップアップを行います。代表企業の個人情報・コンプライアンスの研修もオンラインや紙ベースで定期的実施。一堂に集まったミーティングや研修は、コロナ対策を考えた実施方法を模索しつつ適宜実施を考えます。日常的に意見交換、課題解決策の模索等を行っていきます。

個人情報保護教育	1回/年	待遇研修	適宜	事務所ミーティング	毎月
コンプライアンス研修	1回/年	テーマ別研修(金銭等)	適宜	カウンターミーティング	四半期
コンプライアンスチェック	毎月	他施設訪問研修	適宜	レセプションミーティング	四半期

東急コミュニティー・神奈川共立・横浜市市民施設協会共同事業体
組織体制図



「別表1」 【青葉区民文化センター・フィリアホール施設基本使用料一覧表】

【単位：円(税込み)】

ホール利用料金 (要綱第15条)

用途	曜日	区分	(9時～10時)	10時～12時	13時～17時	(17時～18時)	18時～22時
			※調律のみ				
ホール 500席 1階384席 2階116席 ホールは天井工事で閉鎖	入場料徴収	平日	時間帯料金 (6,800)	18,500	37,500	(10,000)	41,500
			10時～17時	56,000			
			13時～22時		79,000		
			10時～22時	97,500			
	録音・撮影(営利目的)	土日 休日	時間帯料金 (8,000)	21,500	46,500	(11,500)	46,500
			10時～17時	68,000			
			13時～22時		93,000		
			10時～22時	114,500			
	入場料無料	平日	時間帯料金 (4,000)	10,500	22,500	(6,000)	24,500
			10時～17時	33,000			
			13時～22時		47,000		
			10時～22時	57,500			
録音・撮影(非営利・個人趣味利用等)		土日 休日	時間帯料金 (4,800)	13,500	28,000	(6,500)	27,500
			10時～17時	41,500			
			13時～22時		55,500		
			10時～22時	69,000			
楽屋 (工事中使用不可)	楽屋1、2(18㎡)		10時～17時	500	800	(200)	800
	楽屋3、4(26㎡)		13時～22時	800	1,100	(200)	1,100
	楽屋5(36㎡)		10時～22時	1,000	1,600	(400)	1,600

別表2 リハーサル室・練習室利用料金 (要綱第15条)

名称	面積定員	曜日	10:15～12:15	12:45～14:45	15:00～17:00	17:30～19:30	19:45～21:45
リハーサル室	(71.5㎡)	平日	2,350	2,350	2,350	2,700	2,700
	(80人)	土日・休日	2,850	2,850	2,850	3,000	3,000
練習室1	(24㎡)	平日	600	600	600	650	650
	(10人)	土日・休日	700	700	700	750	750
練習室2	(24㎡)	平日	600	600	600	650	650
	(10人)	土日・休日	700	700	700	750	750
練習室3	(27㎡)	平日	650	650	650	750	750
	(10人)	土日・休日	800	800	800	850	850

別表3 ホールの練習・リハーサル使用料金 (要綱第15条・利用細則第5条)

用途	曜日	区分	(9時～10時)	10時～12時	13時～17時	(17時～18時)	18時～22時
			※調律のみ				
ホール 500席 1階384席 2階116席 ホールは天井工事で閉鎖	練習利用 割引適用の 30%減免後	平日	時間帯料金	7,350	15,750		17,150
			10時～17時	23,100			
			13時～22時		32,900		
			10時～22時	40,250			
	リハーサル 利用 割引適用の 30%減免後	土日 休日	時間帯料金	9,450	19,600		19,250
			10時～17時	29,050			
			13時～22時		38,850		
			10時～22時	48,300			
練習・リハーサル 割引適用の 30%減免後	平日	時間帯料金	7,300	15,700	(4,200)	17,100	
		10時～17時	23,000				
		13時～22時		32,800			
		10時～22時	40,200				
	リハーサル 利用 割引適用の 30%減免後	土日 休日	時間帯料金	9,400	19,600	(4,550)	19,200
			10時～17時	29,000			
			13時～22時		38,800		
			10時～22時	48,300			

別表2

維持管理年間計画(通年)

	業務	内容	頻度	実施詳細
機械設備	空調設備総点検		1回/年	全室空調設備の総点検
	空調設備フィルター保守	定期点検	1回/年	事務所空調機フィルター清掃
舞台設備等	天井工事中、年間保守はなし			
ピアノ保守等	ピアノ保守管理(ホール) (スタインウェイ2台)			工事中は、別途保管。 工事終了後に保守点検実施
	ピアノ保守管理(ホール) (ヤマハグランドピアノ1台)			
	ピアノ保守管理(楽屋3) (ヤマハアップライト1台)			
	ピアノ調律(ホール)※1 (スタインウェイ2台)			工事終了時に調律
	ピアノ調律(ホール)※1 (ヤマハグランドピアノ1台)			
	ピアノ保守管理(リハーサル室) (ヤマハグランドピアノ1台)	定期点検	1回/年	
	ピアノ保守管理(練習室2・3) (ヤマハアップライト2台)	定期点検	1回/年	
	ピアノ調律(リハーサル室)※2 (ヤマハグランドピアノ1台)	調律	12回/年	
	ピアノ調律(練習室2,3) (ヤマハアップライトピアノ2台)	調律	6回/年	
	ピアノ調律(楽屋3) (ヤマハアップライトピアノ1台)	調律	6回/年	
清掃等	日常清掃業務	—	毎日	ホール・ホワイエを除く施設清掃 ・カウンター前・事務所 ・リハーサル室・練習室 ・練習室ロビー
	定期:床洗浄・ワックス塗布		1回/3ヶ月	
	定期:カーペット洗浄		1回/年	
	定期:窓ガラス(内面)		6回/年	
	特別:状況により		1回/年	
環境管理	ホール環境測定(空調・温度)		4回/年	空調・温度環境測定(事務所)
	ホール環境測定(照度)			ホール内照度測定は無し
	害虫駆除			工事中なし
小破修繕		—	適宜	

※1:ホールスタインウェイピアノ及びヤマハピアノは、工事中は別倉庫にて保管し、保守・調律は工事終了後実施

※2:リハーサル室セミグランドピアノは、経年劣化で不安定な状態にあり、毎月調律対応。

※ビル法定点検・測定及び防火対象物点検等はビル側にて実施。

令和4年度（2022年）「青葉区民文化センター（フィリアホール）」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	2022予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	152,785,000		152,785,000		152,785,000	賃金スライド反映分増額
利用料金収入	7,887,000		7,887,000		7,887,000	リハーサル室・練習室のみ
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	3,701,000		3,701,000		3,701,000	概算時は提案数値
自主事業収入			0		0	
雑入	618,000	0	618,000	0	618,000	
印刷代	60,000		60,000		60,000	実績参照のうえ、下方修正
自動販売機手数料	192,000		192,000		192,000	実績参照の上、利用減見込み
駐車場利用料金収入			0		0	
その他（ ）	366,000		366,000		366,000	バーカウンター営業なし・協賛金見込まず
収入合計	164,991,000	0	164,991,000	0	164,991,000	

支出の部

科目	2022予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	2021予算 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	65,441,000	0	65,441,000	0	65,441,000	
給与・賃金	55,553,000		55,553,000		55,553,000	舞台スタッフは約半減・カウンタースタッフのシフト減
社会保険料	9,888,000		9,888,000		9,888,000	上記給与の法定比率
通勤手当	0		0		0	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	6,882,000	0	6,882,000	0	6,882,000	
旅費	1,799,000		1,799,000		1,799,000	社員・アルバイト交通費一部減
消耗品費	705,000		705,000		705,000	衣服費。クリーニング費の減
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	370,000		370,000		370,000	コピー使用料減・施設販促を削減
通信費	1,884,000		1,884,000		1,884,000	郵送料・運搬費の減
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	備品購入減
図書購入費	21,000		21,000		21,000	新規図書購入なし
施設賠償責任保険	0		0		0	損害保険料：ボランティア保険等削減
職員等研修費			0		0	
振込手数料			0		0	諸経費内振込・両替手数料他
リース料	1,853,000		1,853,000		1,853,000	各種リース：携帯電話抑止装置未稼働
手数料	50,000		50,000		50,000	チケット販売ほぼなし
地域協力費			0		0	
事業費	12,374,000	0	12,374,000	0	12,374,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	9,242,000		9,242,000		9,242,000	自主事業費は公演変動大幅なし
自主事業費	3,132,000		3,132,000		3,132,000	HP改良・定期的な改編の費用なし
管理費	64,060,000	0	64,060,000	0	64,060,000	
光熱水費	7,808,000	0	7,808,000	0	7,808,000	
電気料金	7,119,000		7,119,000		7,119,000	電気は工事中の電気は貸与
ガス料金	0		0		0	該当無し
水道料金	689,000		689,000		689,000	水道も工事中の使用料は貸与
清掃費	780,000		780,000		780,000	ホールホワイエ削除
修繕費	16,000,000		16,000,000		16,000,000	修繕費は、天井改修関連工事分で大幅増見込
機械警備費			0		0	該当無し
設備保全費	1,072,000	0	1,072,000	0	1,072,000	
空調衛生設備保守	221,000		221,000		221,000	空調機点検
消防設備保守	23,000		23,000		23,000	防火対象物点検のみ・その他保守は無し
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	各種測定は未実施：必要に応じ事務所のみ実施
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	828,000		828,000		828,000	舞台設備の年間定期保守なし
共益費	38,400,000		38,400,000		38,400,000	共益負担金
公租公課	9,076,000	0	9,076,000	0	9,076,000	
事業所税			0		0	
消費税	9,046,000		9,046,000		9,046,000	消費税相当分：総費用減により減
印紙税	30,000		30,000		30,000	収入印紙
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	7,158,000	0	7,158,000	0	7,158,000	
本部分	6,000,000		6,000,000		6,000,000	当社本社経費分（固定金額）端数削減
当該施設分	1,158,000		1,158,000		1,158,000	事務経費・その他諸費用 費用削減
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	164,991,000	0	164,991,000	0	164,991,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	3,701,000		3,701,000	0		
自主事業費支出	12,374,000		12,374,000	0		
自主事業収支	△ 8,673,000		△ 8,673,000	0		

管理許可・目的外使用許可収入						
管理許可・目的外使用許可支出						
管理許可・目的外使用許可収支						